

自動配本なし／委託販売可 2022年8月30日発送予定

ことばが世界をひらく

新言語教育学



横瀬和治 = 著

本体 2,200 円 + 税 | A5判 上製 | 176 頁

(言語学者)

ISBN978-4-9912091-6-1 C0037

日本・米国・カナダ・オーストラリアでリテラシー教育に携わり、朝日新聞 GLOBE 特集記事「天才の育て方」でも話題となった言語学者が、人間の「ことば」と「学び」の本質を説く。

私たち人間は、「ことば」に支えられて自己の世界を築き上げ、開かれた世界を知る——。母語の豊かな使い手となり、第二言語・英語を学ぶ真の価値と、その習得に必要な条件が明らかになる。

朝日新聞 GLOBE
「天才の育て方」より

「研究の森」代表の言語学者・横瀬和治(72)は「疑問を持つこと、答えを探すことは、生きることの一部」と話す。「勉強なんてへどが出る」と言う人さえ、「なぜ、こんなことをやらねばならないのか」「どうすれば幸せになれるのか」という真摯(しんしん)な問いが根っこにある。「学び」とは本来、そんな自発的問いに支えられた行為だ。

一方、学校教育は「将来のため」と称して「今、生きること」とは何の関係もない知識を伝えようとする。それは学びとは対極の「苦行」だ。自発的に学べる環境を作るには、そこから離れる必要がある——。そんな横瀬の考えを具現化したのが「研究の森」だった。

記事「若き天才候補はこうして生まれた」
<https://globe.asahi.com/article/11579157>

目次

第1章 「ことば」が生まれるとき

言語習得における「前言語コミュニケーション」
「共同体」のなかの「本物性」／「ことば」が生まれるとき

第2章 地球語としての英語 (English as a Global Language)

英語教育の今日的課題／「第二言語」としての英語／地球語としての英語

第3章 「学び」の源泉を求めて

「リテラシー」の危機／「近代化型教育」の終焉／「学び」の源泉を求めて

著者 横瀬和治 (よこせ・かずはる)

1945年、東京都八王子市生まれ。専門は外国語教育・第二言語習得。LCS教育研究所所長などを歴任、日本・米国(カリフォルニア大ほか)・カナダ(トロント大ほか)・オーストラリア(ボンズ大ほか)で、リテラシー教育の実践と研究開発に従事した。暁星国際学園ヨハネ研究の森コース、酒田南高等学校グローバル専攻など、画期的なスタイルによる教育課程の開発・運営でも各方面の注目を集めている。

小社刊行物は、直接取引でお届けいたします。物流と決済は、低正味・スピード納品で定評のあるトランスビューが代行いたしますので、新規手続きは不要です。配本はございません。1冊からお気軽にお申し付けください。(返品随時可/送料元払/取次ルートは完全買切)

直取引代行
トランスビュー

学而図書の商品は、トランスビューの取扱で納品いたします。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じです(随時返品可)。取次ルートの場合は、買切・返品不可となります。トランスビューとのお取引がないお店からのご注文は、小社からご連絡いたします。

貴店名

ご注文

ご担当

冊